

2019 年度 東京医科歯科大学 (前期)

医学部

試験時間 : 90 分

📖 全問必答

1 n を 2 以上の自然数とし、ひとつのサイコロを n 回くり返し投げるとする。 n 以下の自然数 k について、 k 回目に 1 から 4 の目が出たら $a_k = 1$, 5 または 6 の目が出たら $a_k = 0$ として、数列 $\{a_k\}$ を定義する。さらに数列 $\{b_k\}$ を、 $b_1 = 0$, 2 以上 n 以下の自然数 k について $b_k = (a_k + a_{k-1})(2 - a_k - a_{k-1})$ と定義する。このとき以下の各問いに答えよ。

- (1) k を 2 以上 n 以下の自然数とする。 $b_k = 0$ となる確率を求めよ。
- (2) $b_2 = b_3 = \dots = b_n = 1$ となる確率を n を用いて表せ。
- (3) n が 5 以上のとき、 $S_n = \frac{b_2}{2} + \frac{b_3}{2^2} + \dots + \frac{b_n}{2^{n-1}}$ とおく。このとき $\frac{5}{8} \leq S_n < \frac{15}{16}$ となる確率を求めよ。

2 三角形 ABC において、頂点 A, B, C の角の大きさをそれぞれ A, B, C , 対辺の長さをそれぞれ a, b, c で表す。また a, b, c は、この順で正または 0 の公差をもつ等差数列をなすとする。このとき以下の各問いに答えよ。

- (1) $C = \frac{2}{3}\pi$ のとき、 $\cos A$ の値を求めよ。
- (2) $C = 2A$ のとき、 $\cos A$ の値を求めよ。
- (3) $C = A + \frac{\pi}{3}$ のとき、 $\cos A$ の値を求めよ。

3 a と b を実数として、 xy 平面において、2 つの曲線

$$C_1 : y = x^4 - x^2$$

$$C_2 : y = a(x^2 - 1)$$

および直線

$$l : y = b$$

を考える。ただし、 C_1 と l は相異なる 4 点で交わるとする。また、 C_1 と C_2 は $0 < x_0 < 1$ となる交点 $P(x_0, y_0)$ をひとつもつとする。このとき以下の各問いに答えよ。

- (1) a のとりうる値の範囲を求めよ。また x_0, y_0 を a を用いて表せ。
- (2) b のとりうる値の範囲を求めよ。また C_1 と l の交点の x 座標を b を用いて表せ。
- (3) C_1 と l で囲まれる領域のうち、 $y \leq b$ の部分を y 軸のまわりに回転してできる立体の体積を V_1 とする。 V_1 を b を用いて表せ。
- (4) $b = y_0$ として、 C_2 と l で囲まれる領域のうち、 $y \leq y_0$ の部分を y 軸のまわりに回転してできる立体の体積を V_2 とする。 $3V_1 = V_2$ のとき、 a の値を求めよ。

2019年度 東京医科歯科大学 (前期)

医学部

(略解)

☞ 証明, 図示などは省略

1

(1) $\frac{5}{9}$

(2)
$$\begin{cases} 2\left(\frac{2}{9}\right)^{\frac{n}{2}} & (n \text{ が偶数のとき}) \\ \left(\frac{2}{9}\right)^{\frac{n-1}{2}} & (n \text{ が奇数のとき}) \end{cases}$$

(3) $\frac{22}{81}$

2

(1) $\frac{13}{14}$

(2) $\frac{3}{4}$

(3) $\frac{3 + \sqrt{13}}{8}$

3

(1) $0 < a < 1, x_0 = \sqrt{a}, y_0 = a^2 - a$

(2) $-\frac{1}{4} < b < 0, \pm \sqrt{\frac{1 \pm \sqrt{1+4b}}{2}}$ (複号任意)

(3) $V_1 = \frac{\pi}{6}(1+4b)^{\frac{3}{2}}$

(4) $a = \frac{1}{3}$